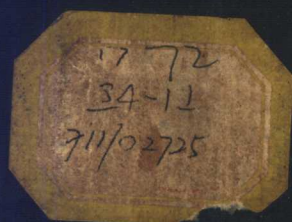


新化学辞典

新化学辞典编纂委员会编



新化学辞典

N.355-1958

昭和 33 年 2 月 20 日 発行

定価 2500 円

著 者 新化学辞典編集委員会

発行者 増 田 顯 邦

印刷所 三松堂印刷株式会社

発行所 日刊工業新聞社

東京都千代田区飯田町 1 の 1
電 話 九 段 (33) 1171-7
振替口座 東京 186076

乱丁・落丁本はお取替えいたします

(製本・量製本)

監 修 者

理学博士 井 上 春 成

編 纂 委 員 (50音順)

委 員 長	東京工業試験所 所長 理学博士	石 村 幸 四 郎
委 員	東京工業試験所 第4部第2課長 農学博士	太 田 暢 人
"	東京工業試験所 第5部第3課長 工学博士	鹿 園 直 治
"	東京工業試験所 第3部第4課長 理学博士	西 田 広 三
"	東京工業試験所 第5部第5課長 工学博士	土 屋 知 太 郎
"	東京応化工業株式会社 代表取締役 綿 役	向 井 繁 正

序

戦後十余年間、科学技術進歩のテンポの早さは目まぐるしいほどで、戦前の五十年にも匹敵するであろう。日に日に新しい技術が生れ、時々新しい製品が市場に出され、刻々新しい化合物が合成されつつあると言ってもよろしいであろう。忙しい工場人も研究者も、はては一般社会人も新しい言葉にぶつかる毎に図書室に駆けつけ、おびたしい文献を探ることは容易でない。

この時に当って、日刊工業新聞社が本書編纂者の一人である向井繁正氏の提案を取り上げて、「新化学辞典」の編纂に着手されたことは誠に時宜に合ったことと言わねばならない。而して長年化学工業の研究に従事している多数の有力なる研究者達が広く文献を渉猟し、簡にして要を得た記述を以て、各方面にわたる化学製品名を一巻に集めたのは誠に有益なことであり、必ず大方の会社人や化学技術者の座右に備え、手離し難い辞典であると信ずる。

この辞典はこの方面の日本における最新のものであり、最も有用なものであると信ずるが、技術の進歩は一日と雖も停止することがないから数年ならずして増訂または改版が必要となって来るであろう。大英百科事典のように定期的に版が改められ、永く一般の社会人や技術者・研究者の必携の辞典となることを期待する。

昭和 33 年 2 月

井 上 春 成

編纂のことば

わが国において現在用いられている化学に関する辞典は二、三に止まらず、何れも学術的価値高く、それぞれの特徴を有し、広く斯界に迎えられており、学術、技術の進歩につれて今後ますます研究者・技術者の好指針となるべき良書が刊行されるであらう。

化学辞典のもつ使命は如何なるものであらうか。いうまでもなく多数の化学製品、化合物の名称、性状を知り、一般化学工業の実際を知る上の教科書であり、備忘のための伴侶にもなるであらう。しかも記述が学術的に価値高く、また詳細であるほど価値高いものといわれよう。だが一方において、いわゆる平易な辞典の要求も決して皆無というわけではない。工場や、生産や、企業を中心とする各層の人たちの要求にマッチする辞典の使命は、自ら学術的書物とその規範を異にするものがあると思われる。当東京工業試験所を訪問されるこれら各層の人たちに接する毎に、いつもこの感を深くするのである。

先年、ふとした機会で、本書の編纂を企図することになったのであるが、低俗に流れない化学辞典ということは言うに易く、世に言ういわゆる平易なものというに至っては非常に困惑に当面した。しかし一日も早くこの種のものを出版したいと念願していた次第である。

本書の内容は、できるだけ理論的事項を避けること、化合物、化学製品の性状・用途を端的簡易に記述すること、世にある専売製品、それも現在の世界経済事情上、止むを得ないことではあるが、主としてアメリカにおける重要な商品名とその成分・性状・用途を紹介し、以て彼の国の化学工業事情を知る上の参考とすること、などを主眼とすることにした。なお現在脚光を浴びつつある種々のアイソトープについても簡単に記述を以て説明し、また工場技術に必要と思われる参考資料を付して一応、本辞典をまとめることにした。

もとより広範囲にわたることとて万全は期し難く、大方諸賢の叱正を待つて

近い将来検討を加え、逐次正確にして斬新な改訂版を世に送る機会のあらんことを祈念する。

終りに臨み、公務の余暇を以てこれに専念すること久しく、担当事項について熱心な努力を傾注せられた編纂委員の各位に対し、衷心からの謝意を表明する次第である。

・ ・ 昭和33年 2 月

東京工業試験所長
理 学 博 士 石 村 幸 四 郎

凡 例

1. 項目の配列:

- i) 五十音順(表音式)によった。
- ii) 長音は $\bar{}$ で表わし、配列上からは無視した。
- iii) 濁音、半濁音は清音として取扱った。
- iv) 促音および拗音は1音として取扱った。
- v) ヴァ、ヴィなどはバ、ビとした。ただし Vaselim, Vanish などは慣用語としてワセリン、ワニスとした。
- vi) 接頭語としてつく記号、数字は配列上からは無視した。

2. 見出しの記載方法:

- i) 項目名は平かな書きとし、外来語については特に片かなを用いた。また、別に日本語に当るものを漢字で示し、一部に外来語を含むときはその部分を——で示した。
- ii) 別名のある場合は () 内に太字で示し、また項目名の条件および説明に当るものは [] 内に細字で示した。

3. その他:

- i) 項目において、日本語に対応する英語名を記し、これに別名のあるときは、これをカッコ内に記した。
- ii) 接頭語としての ortho (o-), meta (m-), para (p-), alpha (α -), beta (β -), normal (n-) など、一般に記号を用い得る場合には、日本語においてもこれを使用した。
- iii) 温度はすべて摂氏温度($^{\circ}\text{C}$)とし、比重 d_4^{25} 、屈折率 n_D^{25} 、旋光度 $[\alpha]_D^{25}$ など記号と共に用いた場合は $^{\circ}\text{C}$ を省略した。
- iv) 各種の記号、略号については、付録の化学記号の略語表を参照されたい。
- v) 本文ノズブルと共にかけた柱においては、偶数ページは最初の、奇数頁は最後の項目名(かながき)の第5字までをとった。

4. 索引について:

- i) 巻末の英文索引には、本文項目に対応してかけた英文用語をアルファベット順に配列し、該当する頁数を示した。
- ii) α , β などが、術語の一部として用いられている場合は、それぞれ、A, B として取扱った。
- iii) 化合物における接頭語、数字などは、本文と同様、配列上からは順序を無視した。

万国原子量表 (1953)

元 素 名	元素記号	原子番号	原子量 ^a	元 素 名	元素記号	原子番号	原子量
Actinium	アクチニウム	Ac	89 227	Molybdenum	モリブデン	Mo	42 95.95
Aluminum	アルミニウム	Al	13 26.98	Neodymium	ネオジム	Nd	60 144.27
Americium	アメリシウム	Am	95 [243]	Neptunium	ネプツニウム	Np	93 [237]
Antimony	アンチモン	Sb	51 121.76	Neon	ネオン	Ne	10 20.185
Argon	アルゴン	Ar	18 39.944	Nickel	ニッケル	Ni	28 58.69
Arsenic	砒 素	As	33 74.91	Niobium (Columbium)	ニオブ	Nb	41 92.91
Astatine	アスタチン	At	85 [210]	Nitrogen	窒 素	N	7 14.008
Barium	バリウム	Ba	56 137.36	Osmium	オスミウム	Os	76 190.2
Berkelium	バーケリウム	Bk	97 [245]	Oxygen	酸 素	O	8 16
Beryllium	ベリリウム	Be	4 9.013	Palladium	パラジウム	Pd	46 106.7
Bismuth	ビスマス	Bi	83 209.00	Phosphorus	燐	P	15 30.975
Boron	硼 素	B	5 10.82	Platinum	白金	Pt	78 195.23
Bromine	臭 素	Br	35 79.916	Plutonium	プルトニウム	Pu	94 [242]
Cadmium	カドミウム	Cd	48 112.41	Polonium	ポロニウム	Po	85 210
Calcium	カルシウム	Ca	20 40.08	Potassium	カリウム	K	19 39.100
Californium	カリフォルニウム	Cf	98 *[248]	Praseodymium	プラセオジウム	Pr	59 140.92
Carbon	炭 素	C	6 * 12.011	Promethium	プロメチウム	Pm	61 [145]
Cerium	セリウム	Ce	58 140.13	Protactinium	プロトアクチニウム	Pa	91 231
Cesium	セシウム	Cs	55 132.91	Radium	ラジウム	Ra	88 226.05
Chlorine	塩 素	Cl	17 35.457	Radon	ラドン	Rn	86 222
Chromium	クロム	Cr	24 52.01	Rhenium	レニウム	Re	75 186.31
Cobalt	コバルト	Co	27 58.94	Rhodium	ロジウム	Rh	45 102.91
Copper	銅	Cu	29 63.54	Rubidium	ルビジウム	Rb	37 85.48
Curium	キュリウム	Cm	96 *[245]	Ruthenium	ルテニウム	Ru	44 *101.1
Dysprosium	ジスプロシウム	Dy	66 162.46	Samarium	サマリウム	Sm	62 150.43
Erbium	エルビウム	Er	68 167.2	Scandium	スカンジウム	Sc	21 44.96-
Europium	ユーロピウム	Eu	63 152.0	Selenium	セレン	Se	34 78.96
Fluorine	弗 素	F	9 19.00	Silicon	珪 素	Si	14 28.09
Francium	フランシウム	Fr	87 [223]	Silver	銀	Ag	47 107.880
Gadolinium	ガドリニウム	Gd	64 156.9	Sodium	ナトリウム	Na	11 * 22.991
Gallium	ガリウム	Ga	31 69.72	Strontium	ストロンチウム	Sr	38 87.63
Germanium	ゲルマニウム	Ge	32 72.60	Sulfur	硫 黄	S	16 32.066 ^b
Gold	金	Au	79 * 197.0	Tantalum	タンタル	Ta	73 *180.95
Hafnium	ハフニウム	Hf	72 178.6	Technetium	テクネチウム	Tc	43 [99]
Helium	ヘリウム	He	2 4.003	Tellurium	テルル	Te	52 127.61
Holmium	ホルミウム	Ho	67 164.94	Terbium	テルビウム	Tb	65 *158.93
Hydrogen	水 素	H	1 1.0080	Thallium	タリウム	Tl	81 204.39
Indium	インジウム	In	49 114.76	Thorium	トリウム	Th	90 *232.05
Iodine	沃 素	I	53 126.91	Thulium	ツリウム	Tm	69 *168.94
Iridium	イリジウム	Ir	77 * 192.2	Tin	錫	Sn	50 118.70
Iron	鉄	Fe	26 55.85	Titanium	チタン	Ti	22 47.90
Krypton	クリプトン	Kr	36 83.80	Tungsten	タングステン	W	74 183.2
Lanthanum	ランタン	La	57 138.92	Uranium	ウラン	U	92 238.07
Lead	鉛	Pb	82 207.21	Vanadium	バナジウム	V	23 50.95
Lithium	リチウム	Li	3 6.940	Xenon	キセノン	Xe	54 131.3
Lutetium	ルテチウム	Lu	71 174.99	Ytterbium	イッテルビウム	Yb	70 173.04
Magnesium	マグネシウム	Mg	12 24.32	Yttrium	イットリウム	Y	39 88.92
Manganese	マンガン	Mn	25 * 54.94	Zinc	亜 鉛	Zn	30 65.38
Mercury	水 銀	Hg	80 200.61	Zirconium	ジルコニウム	Zr	40 91.22

^a [] の数値は既知のものうち最も長い半減期の同位元素の質量数である。

^b 硫黄の同位元素は天然において存在割合が変動するためその原子量は ±0.003 の変動範囲を付する。

* は 1951 年に比して原子量の変動したものである。

あ

あアンチモンさん 亜——酸 antimonious acid 三酸化アンチモン Sb_2O_3 の水化物。白色ゲル状の沈澱。 $\text{Sb}(\text{OH})_3 \cdot n\text{H}_2\text{O}$ と考えられる。アンチモン塩にアルカリを加えるか、または吐酒石溶液に稀硫酸を加えて得られる。容易に水を失い三酸化アンチモンになる。

あアンチモンさんえん 亜——酸塩 antimonite 三酸化アンチモンと塩基との化合物。最も普通の塩は、メタ亜アンチモン酸塩 MSbO_3 (Mは1価の金属)。ナトリウム塩、カリウム塩が著名。ナトリウム塩は三酸化アンチモンを苛性ソーダに溶解後結晶させて得られる。

あい 藍 indigo →インジゴ

アイアン バッフ "Iron" buff (Nankin yellow) 木綿または木綿製品に染めた水酸化第二鉄。木綿を硫酸第一鉄、塩基性硫酸第二鉄または硝酸第二鉄の溶液に浸漬し、水酸化カルシウム、苛性ソーダまたはソーダ灰などの溶液を加え、繊維の表面に水酸化第二鉄を沈澱し染付ける。

アイアン ブラック iron black 細かい黒色の粉末。アンチモン塩の酸性溶液に亜鉛を作用させて得られる。黒色のアンチモンが細かい粉末として沈澱する。主として磨鋼の外観を与える目的に用いる。

アイアン レッド iron red 顔料に使用する酸化第二鉄のうち赤色のもの。

アイオノール "Ionol" Shell Chemical Corp. の製品 2,6-di-tert-butyl-4-methylphenol の商品名。融点 70°C 、沸点 265°C 、比重 $d_4^{25}=1.048$ 、比重 $d_4^{20}=0.899$ 、引火点 260°C 。メタノール、エタノール、イソペンタン、ベンゼン、トルエン、メチルケトンおよび亜麻仁油に可溶。水、10%苛性ソーダに不溶。各種石油製品に対する酸化防止剤。淡色の天然ゴムおよび合成ゴムの配合剤。ネオプレンおよびある種のプラスチックに対する安定剤として使用。

アイ-グミ i-gummi ドイツ製のポリウレタンゴム。アジピン酸およびグリコールのポリエステルを基質としジイソシアナート酸塩を加えて作った靴底用的人造皮革。第2次世界大戦にドイツで使用された。→デスモジュール Desmodur、→デスモフェン Desmophen

アイコサン eicosane $\text{C}_{20}\text{H}_{42}$ または、 $\text{CH}_3(\text{CH}_2)_{18}\text{CH}_3$ パラフィン系炭化水素の一つ。固体。水に不溶。エーテルに可溶。比重 0.794。沸点 $205^\circ\text{C}(15\text{mm})$ 。融点 36.4°C 。有機合成に用いる。

アイコノゲン eikonogen (amino-2-naphthol-6-sulfonic acid, sodium salt) $\text{NH}_2\text{-C}_{10}\text{H}_7(\text{OH})\text{SO}_3\text{Na} \cdot 2\frac{1}{2}\text{H}_2\text{O}$ 白色粉末。銀塩類を還元する。水に可溶。アルコール、エーテルに不溶。炭酸ナトリウムとアミノ-2-ナフトール-6-スルホン酸との反応により得られる。結晶法によって精製する。写真現像液に用いる。

あいざめ かんゆ 相鯨肝油 Aizame liver oil 相鯨は本邦では駿河地方に産し、方言でアカブサメという。肝臓は灰白色で大きく体重の約4分の1を占め、肝油の収量は肝臓に対し約76%に達するものもある。相鯨肝油は淡黄色、特有の不快でない臭いを有し、比重 $d_4^{25}=0.8644$ 、凝固点 -20°C 以下、屈折率 $n_D^{20}=1.4930$ 、酸価 0、鹼化価 23.0、沃素価 344.6(ウイス法)、不鹼化物 90.17%、粗スクアレン含量 84.8%。鯨の肝臓からビタミンAを抽出する時の移行油として用いる。

アイジングラス isinglass (ichthyocolla) 通常、鰯魚(ちょうざめ)の浮袋内部の皮からつくった純粋な白色の無臭無味のゼラチン。接着剤、清澄剤、食用に用いる。

アイスランドコケ ——苔 Iceland moss
→エーランタイ

アイゼナイザー T.C.P. の商品名。製造会社：保土谷化学。

アイゼン マラカイト グリーン "Aizen" Malachite Green マラカイト グリーンの商品名。製造会社：保土谷化学。

アイソトープ isotope →同位元素

アイバゆ ——油 iva oil 青緑色液状油。芳香あり。比重 0.934。アルコール、エーテルクロロフォルムに可溶。Achillea moschataの開花した草木を蒸溜して得られる。精溜法またはよりて精製する。瑞西アイバリキュールの製造に用いる。

アイビーシー IPC (INPC; isopropyl N-phenyl carbamate) $\text{C}_6\text{H}_5\text{NHCOOCH}(\text{CH}_3)_2$ 白色～灰色の針状晶。無臭。融点 84

°C. アルコール、アセトン、イソプロピルアルコールに可溶。水に微溶。除草剤に用いる。

アイフィビン ayfivin *Bacillus licheniformis* から生成される抗生物質。C 48.8%, H 7.3%, N 14.6%, Cl 7.9%, S 2.5% からなる非晶質沈澱物。水 1cc 中 4mg 可溶。アルコール、ブタノールに可溶。等電点は、pH 7 付近。セロハンで透析し得る。塩酸塩は白色粉末で、より水に溶け易い。アイフィビンの水溶液に、ピクリン酸、ピクロロン酸、ライネケ塩、塩化第二水銀、三塩化酢酸、硫酸アンモニウムなどを加えると沈澱する。

アイボ "Ivo" 人造皮革、壁紙、床材等の被覆に用いる骨炭の商品名。製造会社: Binney & Smith Co. (N.Y.)

アイボリー ivory 象、海象、河馬、の牙。硬い白色の緻密な粒子から成る。象から得たものが最上等。

アイボリーナット ivory nut

→象牙椰子の実

アイボリーブラック ivory black

→象牙炭

アイリウム illium →イリウム

アイルランドこけ ——苔 Irish moss

ツノマタの一種。アイルランドおよびニュージーランド沿岸に産出する。医薬、皮革仕上剤に用いる。

アイルトラップ "Ayr-Trap" 商品名。コンクリートおよびセメントモルタルの空気導入剤。数%の空気を小気泡として導入し、コンクリートの強度の維持および気密性を助長する。製造会社: A. C. Horn Co. (N. Y.)

アイローション eye lotion 硫酸亜鉛、硼酸、食塩などを溶かした樟腦水の稀薄液。眼の疲労、睡眠不足などに用いる。

アイロタイシン "Ilotycin" フィリピン土壤中の放射菌、ストレプトマイセス エリストロウスから得られた抗生物質エリスロマイシンの商品名。アメリカのリリー会社の研究に係るもので、肺炎、敗血症、淋菌性疾患、猩紅熱、ジフテリー、産褥熱、恙虫病などの他一般のペニシリン適応症に用いられる。

アインシュタインウム E einsteinium E
→元素 99

アウクビゲニン aucubigenin

→アウクビン

アウクビン aucubin $C_{15}H_{18}O_6$ フォキ (*Aucuba*) の実に含まれる配糖体。融点 180°C。

α-グルコースとアウクビゲニンとから成る。

アウアビーキン ——合金 auer metal

→発火合金

あウランさんどー 亜——酸銅 copper
uranite →銅ウラン鉱

アウレオリン aureolin (cobalt yellow; Indian yellow) 亜硝酸コバルトカリウムの顔料名。天然色素インジアンイエローの代用。ガラスおよび磁器に純青色を与えるのに用いられる。インド黄の項参照のこと。

→亜硝酸コバルトカリウム

あえん 亜鉛 zinc Zn. 原子番号 30. 原子量 65.38. 質量数 62, 63, 64, 65, 66, 67, 68, 69 70, 72. 輝白色金属。青灰色光沢。灰色粉末のこともある。金属状態では天然には産出しない。酸、アルカリに可溶。水に不溶。比重 7.142. 融点 419°C, 沸点 907°C. 比熱 0.0925 cal/°C·g (20°C), 線膨張率 3.12×10⁻⁵/°C(0~100°C), 常温では脆いが 100~150°C で展性・延性を増し 200~300°C で再び脆くなる。常温で乾燥空気中では光沢を失わないう。湿気によって表面は酸化するが、内部におよばずよく腐蝕に耐える。酸、アルカリには侵される。

精錬法。乾式: 鉱石を焙焼して酸化亜鉛とし、これを無煙炭粉と共にレトルトに詰め外熱して酸化亜鉛を還元し、生じた亜鉛を蒸溜して採取する。湿式: 亜鉛精鉱を焙焼して酸化亜鉛とし、これを稀硫酸で処理して硫酸亜鉛の溶液を得、精製後電解して精製亜鉛を得る。本法においては電解液の精製が特に重要で液 1 l 中に砒素およびアンチモンは 1mg 以下、銅は 5~10 mg 以下、カドミウム、鉄、塩素などもほぼ同一程度であることが必要である。蒸溜亜鉛 (純度 98.8~99.0%), 電気亜鉛 (純度 99.99% 以上)。

用途: 亜鉛メッキ、トタン板、合金、ダイカスト用合金、乾電池、印刷、包装、成形加工、還元剤、有機合成、亜鉛塩類の製造などに広く用いられる。

あえん アルキル 亜鉛—— zinc alkyl
アルキル基と亜鉛との化合物の総称。例: 亜鉛メチル、亜鉛エチルなど。

あえん エチル 亜鉛—— zinc ethyl
(C_2H_5)₂Zn 無色の液体。不快臭あり。沸点 118°C, 空気中で発煙、発火する。水と激しく反応する。窒素または二酸化炭素気流中で亜鉛屑に沃化エチルを加え少量の銅粉と酢酸エチルとを触媒として加熱して出来、沃化ニチル亜鉛を

蒸溜して得られる。以前はアルキル化剤としてよく用いられたが、現在ではほとんどグリニャール試薬が代って用いられる。

あえんえんぱく 亜鉛鉛白 zinc lead white (zinc oxide, leaded) 通常硫酸鉛と酸化亜鉛の 50:50 の混合物から成るペイント顔料。近來これに代るものが出来て用途は狭くなった。

あえんおー 亜鉛黄 zinc yellow (citron yellow; buttercup yellow; zinc potassium chromate; zinc chrome) 種々の組成を有するが主成分は塩基性クロム酸亜鉛。黄色微粉末。水に微溶。稀酸に可溶。亜鉛華を硫酸に溶かし、過量の重クロム酸カリウムを加えて作る。顔料としてペイント、ワニス、油性塗料、リノリウム、ゴムに用いる。

あえんさんコバルト 亜鉛酸—— cobalt zincate (Rinmann's green; cobalt green) 鮮緑色粉末。酸に可溶。水に不溶。酸化亜鉛と純コバルト硝酸塩溶液または硫酸塩溶液より成るペースト状物質を焙焼して得られる。または亜鉛塩をコバルト塩に加え、沈澱剤として炭酸ナトリウム、磷酸ナトリウムまたは砒酸ナトリウムを加えて加熱乾燥して得られる。顔料に用いる。

あえん ぜんしよーせき 亜鉛尖晶石 gahnite (zinc spinel) ZnAl_2O_4 等軸晶系尖晶石の一種。比重 4.0~4.6、硬度 7.5~8。ガラス光沢。緑色、暗緑色~黒色。ババリア、スウェーデン、アメリカに産出する。

あたん すずアマルガム 亜鉛錫—— zinc-tin amalgam 亜鉛 25%、錫 25%。水銀 50% から成る。電気機械、歯科セメントに用いる。

あえんそさん ぎん 亜塩素酸銀 silver chlorite AgClO_2 黄色の結晶。105°C で爆発する。25°C における水 100 cc に 0.45 g、100°C の水 100cc に 2.13 g 可溶。

あえんそさんナトリウム 亜塩素酸—— sodium chlorite NaClO_2 白色結晶または結晶性粉末。僅かに吸湿性。強酸化剤。約 175°C において発熱して分解する。二酸化塩素溶液に苛性ソーダを加えると塩素酸ナトリウムとの混合物として得られる。または二酸化塩素溶液に過酸化ナトリウムを加えて作る。飲料用水の脱臭と味の改良(酸化剤として)、織物、紙パルプ、食用油その他の油、セラック、ワニス、ワックスおよび薬製品などの漂白、酸化に用いる。

あえん てつ 亜鉛鉄 galvanised iron
→亜鉛メッキ鋼板

あえん てつこー 亜鉛鉄鉱 franklimite (FeMnZn) (FeMn) $_2\text{O}_4$ 磁鉄鉱に似た黑色鉱石。金属光沢または鈍い光沢。僅かに磁性がある。しばしば赤色を呈する。塩酸に徐々に可溶。硬度 6~6.5、比重 5~5.2、アメリカ(ニュージャージー)に産出する。亜鉛は亜鉛華として回収され残余は鏡鉄として精錬する。また粉碎して黑色ペイントに用いる。

あえん か 亜鉛華 Zincum oxydatum ZnO 日本薬局方においては亜鉛華は次のように規定される。白色または微黄色で無臭の粉末。水に不溶。酢酸に易溶。灼熱により黄色を呈し、冷却すれば原色に復する。酢酸溶液に苛性ソーダ液を少量加えると白色沈澱を生じ、過剰に加えると溶解する。1g を塩酸に溶解したものに塩化第一錫溶液 2 倍量を加えたとき 1 時間以内に暗色を呈しない。2g に水 20cc を加え濾過した液は硝酸バリウム液で直ちに变化せずまた硝酸銀液を加えるとき蛋白白濁は僅少。2g と水 15cc と共に加熱し酢酸を加えると完全に可溶。またこの溶液に硫化ソーダ溶液 1 滴により白色沈澱を生じず、またアンモニア水 10cc と磷酸ナトリウム溶液 1 滴により 10 分間経過しても変化しない。亜鉛華は小児タナー(内用)、創面、潰瘍、表面剝離、湿疹、癰癤などに外用として用いられ、内用は 1 日 3 回 0.03~0.1g と規定されている。外用は撒布、軟膏、ペースト剤、塗擦料に分けられる。この他亜鉛華と澱粉の当量を研和して製する亜鉛華澱粉(汗疹、癰癤、潰瘍などに外用)および亜鉛華ゴム絆創膏(湿疹、創傷などに貼用)の製造に用いられる。なお化学的性状その他については酸化亜鉛の項参照のこと。

あえん か 亜鉛華〔鉱〕 hydrozincite (zinc bloom) $2\text{ZnCO}_3 \cdot 3\text{Zn}(\text{OH})_2$ 非晶質。白色または黄色。比重 3.58~3.8、硬度 2~2.5、塩酸に可溶。他の亜鉛鉱の変質によって生じる。アメリカ、スペイン、アルゼンチンに産する。

あえんか すず 亜塩化錫 tin protochloride →塩化第一錫

あえんか てつ 亜塩化鉄 iron protochloride →塩化第一鉄

あえんガラス 亜鉛—— zinc glass 普通の石灰ソーダガラスの酸化カルシウムの一部を酸化亜鉛で置換したもの。

あえんクロム 亜鉛—— zinc chrome

→亜鉛黄

あえんこー 亜鉛鉱 zinc ore →異極

鉱：菱亜鉛鉱；亜鉛鉄鉱；閃亜鉛鉱；紅亜鉛鉱。

あえんぱく 亜鉛白 zinc white →亜鉛華

あえん ふんまつ 亜鉛粉末 zinc powder

細かい粉末にした金属亜鉛。→亜鉛

あえん まつ 亜鉛末 zinc dust 灰色粉末。

少量の氧化物を含む。酸、アルカリに可溶。水に不溶。比重 7.12, 融点 419°C, 沸点 907°C。金属亜鉛を蒸溜し蒸気を冷却して捕集する。染色加工(建築, 藍染), 拔染剤, 塗料, 錆止め塗料, 煙幕, 有機化学還元剤, 油脂工業還元剤に用いる。

あえんメチル 亜鉛—— zinc methyl

(CH₃)₂Zn 無色の液体。沸点 460°C。性質, 製法は亜鉛エチルと同じ。

あえんメッキこーはん 亜鉛——鋼板(トタン

板) galvanized sheet 焼鈍した鋼板の面を稀硫酸で洗って氧化物を除去し, 更に水洗, 拭拭の後, 溶融亜鉛浴中に浸漬後仕上げロールを通して鉄面を平滑にしたもの。面の平坦な平板, 波状の波板(生子板)の各種がある。

あえんらく 亜鉛酪 butter of zinc

→塩化亜鉛

あえんりよく 亜鉛緑 zinc greens 亜

鉛黄と紺青および硫酸バリウムの混合物。鮮緑色の顔料。透明性だが隠蔽力に乏しく, 酸, アルカリに侵される。硫化水素によって変色しない。無毒。クロム緑のように分離しない特長がある。吸油量 20~25%。油性ペンキ用に多く用いられる。コンクリート塗料, 水性塗料には適さない。

あおいした 青石棉 crocidolite (blue asbestos) NaFe(SiO₃)₂ FeSiO₃ 天然のナ

トリウム-鉄珪酸塩。角閃石属の鉱物の一種。淡紫青色。条痕は同色。石棉商品の一つで主に濾過材に用いる。

あおガラス 青—— blue glass 酸化コバルトを加えたソーダガラス。酸化第二銅を加えれば青緑色になる。

あおさん 青金 blue gold 貴金属商の用いる合金。約 75%の金と 25%の鉄を含む。

あおじゃしん 青写真 blue printing

枸橼酸鉄アンモニウムと赤血塩を含む感光紙の上に原図を置き, 原図に記された文字, 図面を感光によって感光紙上に再生させるものをいう。感光紙の光の当たった部分では鉄(III)は鉄(II)に還元され, フェロシアン化カリウムで現像すれば

光を受けない部分の鉄(II)だけが紺青の青色沈澱となり, フェロシアン化カリウムで現像すれば鉄(II)が紺青となり反対になる。稀酸で定着する。建築土木設計図, 工作図面などに広く用いられる。

あおじゃしん かんこーし 青写真感光紙

blue-printing paper 次の配合の青写真感光剤をバライタ紙その他の厚紙に塗布乾燥したもの。(1) A液: 赤血塩 16g, 水 100g, B液: 枸橼酸鉄アンモニウム 20g, 水 100g, A B 両液を等量混合する。(2) A液: 赤血塩 40g, 水 250g, B液: 枸橼酸鉄アンモニウム 66g, 水 256g, A, B 両液を等量混合したもの 960gに對し重クロム酸カリウム 1gを加える。

あおたけ 青竹 malachite green

→マラカイト グリーン

あおぼー 青樺 green rouge 酸化クロムにステアリン, 硬化油などを混合して成型したもの。クロムメッキ, ニッケルメッキ, 不銹鋼, 金, 銀, 白金などの艶出しに用いる。

あかうるし 赤漆 red japan laquer

朱漆に朱またはベンガラ等をねり合せたもの赤色の漆。

あかクローバーのはな red clover blossoms

→トリフォーリウム

あかこしょー red pepper

→トウガラシ 蕃椒

アカシアじゅひ —— 樹皮 acacia bark

アカシア樹の皮。タンニンを含む。収斂剤に用いる。

アカシイン acaciin C₂₈H₃₈O₁₃ C 58.38

%, H 5.59%。マメ科のハリエンジュ (Robinia pseudo-acacia L., Leguminosae) の葉から得られる配糖体。微細な結晶。融点約 260°C (分解), 冷水よりも煮沸水に僅かではあるが可溶, 有機溶剤にも微溶。

あかしろ けいせき 赤白珪石 脈石英中にチャートが角礫状に存在し赤色縞状を呈し, 不純物として炭酸石灰などを含む。融液の粘性, 鉱滓抵抗性が高い。京都(丹波珪石), 福井(若狭珪石), 新潟に産する。珪石質煉瓦に用いる。

アガシン agathin →サリチルメチルフェニルヒドラジン

アカズギン akazgine 西アフリカ産のマチン科植物から得られる現在性状の余り確定していないアルカロイドの一種, 白色の非晶質または結晶質の粉末, 水に不溶。アルコール, ベンゼン, クロロフォルム, エーテル, 四塩化

炭素に可溶。生理的作用はストリキニンと同様である。

アカセチン acacetin (5,7-dihydroxy-4'-methoxyflavone; apigenin-4'-methyl ether) $C_{16}H_{12}O_5$ C 67.60%, H 4.26%. マメ科のハリエンジュ (*Robinia pseudo-acacia*) の葉に配糖体のアカシニン (acacin) として存在する。95% アルコールから黄色針状に結晶する。融点 261°C。アルコールに可溶、エーテルに不溶、アルカリには溶けて黄色液となる。この物の二酢酸塩 $C_{20}H_{16}O_7$ はアルコールから光沢ある針状結晶として得られ、融点 203°C。

アカセチン-β-ルテチノシド acacetin-β, rutinoidse → リナリン (linarin)

アカネ [茜] madder (gamene) アカネ類 *Rubia tinctoria* または *R. munjista* などの根。ルベリトン酸などの配糖体を含み加水分解によりアリザリン、ブルブリンなどを生成する。昔から天然染料として広く用いられ、アルミニウム媒染による赤染を特にトルコ赤という。現在では合成品に全く圧倒された。

あかゆ 赤油 樟脳油の中の沸点 200~270°C の部分で赤褐色。サフロールを多量に含み、サフロール採取原料となりまた石鹼香料にも用いられる。

あかゆ 赤油 red oil → オレイン酸

アガライド agalite (mineral pulp) 滑石の一種。アメリカ (ニュージャージー) に産す。紙に強靱性と光沢を与えるために用いる。

アカリサイト acaricide テップ T.E.P.P (ピロリン酸テトラエチル) のようなダニを殺す力をもった物質をいう。

アガリシン agaricin agaric をアルコールで抽出して得られる活性アガリシン酸を含む液。医薬に用いる。

アガリシンさん ——酸 agaric acid (agāricinic acid; agaric acid; laric acid) $C_{19}H_{30}OH(COOH)_8 \cdot 1\frac{1}{2}H_2O$ 白色微細結晶性粉末無味無臭。融点 141.5°C (分解)。熱湯、アルコール、アルカリ溶液に可溶。冷水、エーテル、クロロフォルムに微溶。アガリックより得られる。医薬および化学薬品、(エステルおよび塩) に用いる。

アガリシンさんナトリウム ——酸—— sodium agarinate 白色の粉末。無味。水に可溶。医薬に用いる。

アガリック agaric (touchwood; spunk; inder; larch agaric; German fungus)

キノコ類落葉松茸 *Polyporus officinalis* を乾燥したもの淡色の海綿状の不規則な形をしている。微臭。不快味がある。主成分はアガリシン酸。アメリカ、カナダに産する。ヨーロッパ落葉松および各種の針葉樹に産する。医薬に用いる。

アカリファ acalypha (Indian acalypha; Indian nettle; cupameni) タカトウダイ科の植物 *Acalypha indica* L. の全体を乾かしたものまたは新鮮なもの。開花期に採集する。印度に産する。成分はアカリフィンアルカロイドレジン、タンニン、揮発性油など。

アカロイドじゅし acaroid resin → アクロイド ゴム

アギ [阿魏] asafetida (devil's dung; food of the gods; asafetida) アギ属植物 *Ferula foetida*, *F. narthes* の根から得られる軟い褐色のゴム状樹脂。不快臭、苦い、辛い味がある。チベット、ペルシヤ、トルキスタンに産する。医薬、特殊治療、風味料に用いる。

アギゆ [阿魏] 油 asafetida oil 無色~黄色または褐色の精油。不快臭。比重 $d_{4}^{20} = 0.915 \sim 0.993$ 。旋光度 $+10^{\circ}58' \sim 17^{\circ}3'$ 。屈折率 $1.4942 \sim 1.5259$ 。硫黄含量 8.9~31.4%。アルコール、エーテル、クロロフォルム、ベンゼンに可溶。アギ樹脂を蒸溜して得られる。

医薬：特殊な治療に用いる。

アキレイン achilleine $C_{20}H_{35}N_2O_{15}$ キク科の植物 *Achillea moshata* および *A. millefolium* から得られるアルカロイド、褐色無定形、吸湿性の粉末。水に可溶、アルコールに僅溶、エーテルに不溶。

アキレア acillea (milfoil; yarrow) 多年生西洋ノコギリ草 *Achillea millefolium* の花の咲いている地上部。ヨーロッパ、アメリカに産する。主成分は揮発油、タンニン、アキレイン。医薬に用いる。

アークアッド "Arquads" $C_8 \sim C_{18}$ で1個または2個以上の鎖状アルキル基を含有する一群の第四アンモニウム塩の商品名。殺菌剤、ゴム充填剤の懸濁剤、乳化剤、織物軟化剤に用いる。製造会社: Armour & Co. (Ill.)

アケアゲル "Aquagel" 専売商品名。泥土穿孔に用いるゲルを形成する膠質ベントナイト粘土。

製造会社: Baroid Sales Div., National Lead Co. (Calif.)

アケアジンク "Aquazinc" The Beacon Co. (Mass.) で製するステアリン酸亜鉛

と湿潤剤とを水に分散させたものの商品名。粉末ステアリン酸亜鉛の取扱中の飛散、火災の危険その他の弊害を解消する目的で製せられたものである。100°C またはそれ以下の温度で蒸発する。

アクアソール "Aquasol" 高度スルフォニ化蓖麻子油の商品名。

製造会社: American Cyanamid Co. (N.Y.)

アクアダウ "Aquadow" 肥料の目的に用いるアンモニア水溶液の商品名。

製造会社: Dow Chemical Co. (Mich.)

アクアダグ "Aqua-Dag" 商品名。水中に純粋の絮状石墨を懸濁した膠質懸濁液。固形 22% を含む。比重 1.121, 沸点 100°C, 完全に水と密和する。電気および電子の伝導フィルム, その他に用いる。

製造会社: Acheson Colloids Corp.

アクアブラック "Aquablack" 専売商品名。ほとんどすべての型の乳濁液の着色および顔料添加に用いるカーボンブラックの懸濁液。革仕上げ, 紙の被覆, 壁紙などに用いる。製品は6種類ある。下記のDAは分散剤のこと。

B. 35%重量カーボンブラック, 65%水およびDA. pH 10~11.

M. カーボンブラック 50%, 水 50%およびDA. pH 10~11.

S. カーボンブラック 45%, 水 55%およびDA. pH 10~11.

R. カーボンブラック 45%, 水 55%およびDA. pH 10~11.

H. カーボンブラック 30%, 水 70%およびDA. pH 10~11.

#1. 骨炭50%, 水55%およびDA. pH 10-11
製造会社: Binney & Smith Co. (N.Y.)

アクアレジン "Aquaresin" 専売商品名。硼酸グリコール (glycol bori-borate) 無色透明の粘濁液体。不乾性。無臭。水、メチルアルコール、グリセリン、ジエチレングリコールに可溶。エチルアルコール、トルエンに不溶。比重 $d_{25}^{25}=1.375$, pH(5%懸濁液) 8.0。織物の軟化剤, 湿潤剤, 膠ゼラチン, ゴムの軟化剤, 可塑剤セロファン, グラシンの接着剤, 油, 炭化水素輸送系統の接ぎ目の目塗り紙, 皮革, 織物の防火剤, 懸濁液中の顔料の固化防止剤。

製造会社: Glyco Products Co., Inc. (N.Y.)

アクアレジン ジービー "Aquaresin" G.B. 専売商品名。硼酸グリセリンの変種。無色透明の粘性液体。如何なる濃度でも結晶し

ない。無臭無毒。腐蝕性なし。水, メチルアルコール, グリセリン, ジエチレングリコールに可溶。エチルアルコール, トルエン, 軽質鉱油, 鉱油, 植物油に不溶。

織物の潤滑, 軟化剤, 膠, ゼラチン, ゴムの軟化剤, 可塑剤, 化粧品, 収斂ローション, セロファン, 透明紙の接着剤, 油, 炭化水素輸送管の接ぎ目の目塗り紙, 皮革, 織物の防火剤として用いられる。

製造会社: Glyco Products Co., Inc. (N.Y.)

アクアレックス "Aquarex" DuPont

社で製する種々の表面活性剤より成るラテックス用化学品の商品名。褐色粘濁液体。赤褐色溶液, 淡黄色糊状, 白色粉末の品種がある。ゴムラテックス, ネオプレンラテックスの凝固を防止する目的に使用する。

アクス ACTH (Adoreno-corticotropic hormone) 副腎刺激ホルモンの略称。脳下垂体前葉ホルモンの一つ。水に可溶。耐熱性。磷および炭水化物を含まない。分子量約2000。

牛, 豚, 羊などの脳下垂体から得られる。医薬(リウマチ性疾患, 喘息, 炎症性皮膚炎, 急性眼炎, 火傷)に用いる。

製造会社: Schering (日独薬品扱)(ACTH), Armour (塩野義, 田辺, 第一扱)(Actnar)。

アクセル エム メルカプトベンゾチアゾールの商品名。ゴム促進剤。

製造会社: 川口化学。

アクチジオン actidione $C_{15}H_{23}NO_4$

(推定) 抗生物質の一種。抗菌作用がある。植物の酵母や菌による病気に対し殺菌の効果がある。

アクチビン "Aktivin" 専売製品。20%有効塩素を含むp-トルエンスルホンナトリウムクロロアミドの工業品。白色粉末。水に溶けてほとんど中性。有機溶剤に不溶。アクチビン, アクチビンS, アクチビンス, の製品種類がある。醸造所など工場用消毒剤, 織物の酸化剤, 漂白剤, 織物のサイジング, 仕上げに用いる。

製造会社: Heyden Chemical Corp. (N.Y.)

アクチニウム actinium Ac 原子番号 89. 放射性元素。質量数 223, 224, 225, 226, 227, 228. 母体元素であるプロトアクチニウムと同様にウラン鉱物中に存在する。天然アクチニウムは質量数 227, 半減期 21.7年。化学的性質は稀土類に類似している。特にランタンとよく似た性質を示す。

アクチニウム エマナチオン actinium+ema-

nation, AcEm →アクチノン

アクチニウムけい —系 actinium series 自然放射性元素の崩壊系列の一つで AcU にはじまり AcD に終るもの。

アクチニド actinide アクチニウムからカリフォルニウムに至る 10 個の元素の総称。すなわち Ac (アクチニウム), Th (トリウム), Pa (プロトアクチニウム), U (ウラン), Np (ネプツニウム), Pu (プルトニウム), Am (アメリシウム), Cm (キュリウム), Bk (バケリウム), Cf (カリフォルニウム)。これらの元素は核外電子配置が 5f 電子の数によって特徴づけられている。

アクチニドけい —系 actinide series →アクチニド

アクチノダフニン actinodaphnine $C_{18}H_{17}NO_4$ 樟科の植物 Actinodaphne hookeri の樹皮に存在するアルカイド、ジセントリン (dicentrin), およびラウロテタミン (laurotetamine) と関係がある。

針状結晶, 融点 $211^{\circ}C$, $[\alpha]_D^{25} = +33^{\circ}$ (アルコール液)。アセトン, アルコール, ベンゼン, クロロフォルムに可溶。エーテルに適度に可溶。水に不溶。塩酸塩 $C_{18}H_{17}NO_4 \cdot HCl$ は針状結晶 (アルコール+エーテルより), 融点 $281^{\circ}C$ (分解) $[\alpha]_D^{25} = +9^{\circ}$ 。硫酸塩 $(C_{18}H_{17}NO_4)_2 \cdot H_2SO_4 \cdot 3H_2O$ は針状結晶 (水+アルコールより), $250^{\circ}C$ で分解。 $C_{18}H_{17}NO_4 \cdot HI$ は針状結晶 (アルコール+エーテルより), 融点 $244^{\circ}C$ 。ピクリン酸塩 (1 分子の結晶水を有する) は融点 $220 \sim 222^{\circ}C$ (分解)。アセチル化物は融点 $230^{\circ}C$ 。ベンゾイル化物は融点 $233^{\circ}C$ 。

アクチノマイシン actinomycin $C_{41}H_{56}N_8O_{11}$ (未確定) E. coli, その他の細菌や酵母に対して有効な抗生物質。土壌, 牛乳, 下水などの中の細菌を減少させる。

アクチノマイセチン actinomycetin 牛肉の浸出液でストレプトマイセス (アクチノマイセス) アルバス Streptomyces (Actinomyces) albus を培養したものから得られる抗生物質。蛋白類似のもので, 殺菌力のある脂肪酸のフラクシオンと一種の酵素を含有するものといわれる。

水に可溶, アルコール, アセトン, 硫酸アンモニウムおよび他の蛋白質沈殿剤で沈殿する。強酸で分解。熱に不安定。

アクチノルビン actinorubin

$C_6H_{14}N_8O_2$ あるいは $C_6H_{22}N_8O_4$

Actinomyces erythreus, A. fradii, A. albosporus あるいは A. Californicus に類似する Actinomycetes 族 (A-105) により生成される抗生物質。

ニヘリアンチン塩として分離された。橙赤色集団的針状結晶, 融点 $206 \sim 214^{\circ}C$, 性状はラベンジュリンに類似する。

アクチノロージン actinorhodine $C_{24}H_{28}O_{11}$ ドイツのゲッティンゲン付近の森の中で発見された一種の actinomycetes により生成される抗生物質 (色素)。

微細な赤色針状結晶。 $270^{\circ}C$ で分解。ビリジン, ビベリジン, フェノールに可溶。アルコール, 酢酸, アセトン, ジオキサン, テトラヒドロフラに僅溶。アセトン溶液は紅, ビリジン溶液は青色を呈する。

酢酸塩 $C_{20}H_{26}O_{14}$ は灰黄色針状結晶, $260^{\circ}C$ で分解する。ビリジン, 水酢酸に可溶, アセトン, 酢酸エチル, アルコールに僅溶。

アクチノン actinon An ラドンの同位元素。原子番号 86, 質量数 219。半減期 392 sec。アクチニウム系の気体放射性元素。

アクチン actin 筋蛋白質の一種。水に可溶。アルカリ塩で沈殿せず微量の Ca^{++} または Mg^{++} によって沈殿する。筋肉内ではミオシンと 2:5 の割合に結合してアクトミオシンとなり筋肉収縮の要素となる。

アクトール actol →乳酸銀

アグニン agnin →ラノリン

アグノステロール agnosterol $C_{30}H_{47}OH$ 羊毛脂中のいわゆるイソコレステロール中に少量含まれる。構造不詳。

アグノリン agnolin →ラノリン

アクバビット akvavit 蒸溜酒の一種。デンマークに産する。アルコール含量 95%。

アグマチン agmatine (1-amino-4-guanidobutan) $H_2N(CH_2)_4NHC(=NH)NH_2$ アルギニンからカルボン酸を脱離した形のものの。

菊科の植物 Ambrosia artemisiifolia の花粉, 麦角, 海綿, 餅の精液, タコの筋肉などに存在する。

この塩の一つは, 鉍酸アグマチンで 2-メチル-2-チオエニレアサルフェートと 1,4-ブタンジアミンとからつくられた。すなわち $C_5H_{14} \cdot N_4 \cdot H_2SO_4$ 。このものは稀薄メタノールから針状に結晶し, 融点 $231^{\circ}C$ 。水に可成り溶け, アルコ

ールにはほとんど溶けない。

その他 $C_6H_{14}N_4 \cdot 2HCl \cdot 2AuCl_3$ (黄色結晶 $223^\circ C$ で分解), ビグリン酸塩 (オレンジ色, 鱗片状, 融点 $223^\circ C$) も知られている。

アクラミン acramine (2-methoxy-6-chloro-9-aminoethylamino acridine)

$C_{16}H_{16}N_3OCl$ 黄色結晶。融点 $141 \sim 142^\circ C$ 。ベンゼン, 稀鉍酸に可溶, 尿, 血液その他に存在するペニシリンの迅速定量用試薬に用いる。

アクラワックス ビー "Acrawax" B 専売商品。脂肪酸エステル的一种。硬い褐色の光沢ある蠟。熱アルコール, トルエン, 酢酸ブチル, 鉱油に可溶。水に不溶。パラフィン蠟と共用できる。比重 $d^{25}_4 = 0.955$ 。引火点 $235^\circ C$ 。融点 $81 \sim 84^\circ C$ 。

ペンキ, エナメル, ワニスの展剤として用いる。

製造会社: Glyco Products Co., Inc. (N.Y.)

アクラワックス シー "Acrawax" C 専売商品名。硬い褐色の合成蠟。光沢良好。熱トルエン, 鉱油, 植物油, テレピン油に可溶。水, イソプロパノールに不溶。高融点で, 脆くないものを必要とする場合に使用される。融点 $140 \sim 142^\circ C$ 。引火点 $283^\circ C$ 。比重 $d^{25}_4 = 0.975$ 。

艶出し剤, 電気絶縁体, 防水剤, レコード盤, 歯科用蠟などに用いられる。

製造会社: Glyco Products Co., Inc. (N.Y.)

アクリコン メタクリル酸樹脂成型粉の商品名。

製造会社: 三菱レイヨン。

アグリコン aglycone (aglucone) 配糖体を加水分解する時にできる糖以外の成分。

→配糖体

アクリジニウム acridinium アクリジン環の窒素にハロゲン化アルキルなどが結合したと見られる化合物。アクリフラビンなどがその例である。

アクリジン acridine $C_{13}H_9N$ 無色の針状結晶。粉末または蒸気を吸入すると激しくさみが出る。刺激性。アルコール, エーテル二硫化炭素に可溶。熱湯に微溶。 $100^\circ C$ で昇華する。融点 $111^\circ C$ 。沸点 $360^\circ C$ 以上。アントラセン油より稀硫酸で抽出し, 重クロム酸カリウムを加え, 沈殿したクロム酸塩を再結晶し, アンモニアを加えた後再結晶してつくる。またジフェニルアミンと硝酸とを塩化亜鉛と熱して合成する。

アクリジン染料, 殺菌剤 (アクリフラビンなど) 合成抗マラリア剤 (アテブリンなど) の原料に用

いる。

アクリジン エロー acridine yellow アクリジン染料の一種。黄色塩基性染料。m-トリレンジアミンとフォルムアルデヒドから合成する。木綿, 絹, 紙, 皮革などの染色に用いる。

アクリジン オレンジ acridine orange アクリジン染料の一種。塩基性染料。木綿, 絹, 紙, 皮革などの染色に用いる。

アクリジン染料 acridine color 分子内にアクリジン環をもつ染料。溶液は黄緑色の螢光を放つ。普通アルデヒド類1分子と m-ジアミン類分子との縮合によってつくる。アクリジンエロー, アクリジンオレンジ, フォスフィンなどがこれに属する。

アクリゾール "Acrysol" Rohm & Hass Co. で製するアクリルポリマーの水懸濁液の商品名。天然または合成ラテックスの濃化, 織物のサイズに用いる。

アクリドン acridone $C_{13}H_9ON$ 黄色針状結晶。融点 $354^\circ C$ 。フェニル アントラニル酸を濃硫酸と熱して得られる。

アクリナミン acrigamine 塩酸ジエチルアミノ イソペンチルアミノ メトキシクロルアクリジン。黄色の結晶性粉末。苦味。約 $250^\circ C$ で分解する。水, アルコールに可溶。アセトン, エーテルに難溶。

経口的マラリア治療剤に用いる。

商品名: アタビル Atabil (塩野義), ヒノブリン (武田製薬), メタキニン (住友化学), ユーマゲン (黒田製薬)。

アクリナール メタクリル酸樹脂塗料の商品名。

製造会社: 三菱レイヨン。

アクリノール acrinol 乳酸 2-エトキシ。6,9-アミノアクリジン。鮮黄色結晶性粉末。

融点約 $240^\circ C$ (分解)。水, アルコールに可溶。塩酸塩よりも溶け易い。水溶液は黄色を呈し緑色の螢光を放つ。

2,6,9-エトキシニトロクロルアクリジンをアンモニアと反応させた後還元して2,6,9-エトキシジアミノアクリジンとし次いで乳酸塩にして得られる。殺菌消毒剤に用いる。

商品名: リバノール Rivanol (バイエル), リマオン Rimaon (武田), リパセボン Ripacepon (塩野義), ヘクタリン Hectarin (第一製薬)。

アクリフラビン acriflavine (neutral acriflavine; euflavine; tryptaflavine neutral;

sonacrin; 2, 8-diamino-10-methyl-acridinium chloride) $C_{14}H_{14}N_3Cl$ アクリジン染料の一種。黄色の塩基性染料。無臭粒状の粉末。3部の水に可溶。アルコールに完全には溶けない。エーテル、クロロフォルムにはほとんど不溶。水溶液は稀釈すると緑色螢光を放つ、アクリジンより合成され、結晶法によって精製する。防腐剤、殺菌剤、嗜眠病の特効薬に用いられる。

アクリフラビンえんき ——塩基 acriflavine base (neutral acriflavin) $C_{14}H_{14}N_3Cl$

褐色の粉末。無臭。水に可溶。アルコールに難溶。エーテル、クロロフォルムに不溶。合成によって得られる。再結晶によって精製する。防腐殺菌剤に用いる。

アグリポール "Agripol" 大豆油などの植物油およびアルコール類の重合体から成る合成ゴムの商品名。天然ゴムと同様に配合または工作できる。ガasket、管材料、接着剤、機械部品に用いる。

製造会社: Reichhold Chemicals, Inc. (Mich.)

アクリライト メタクリル酸樹脂板の商品名。

製造会社: 三菱レイヨン。

アクリラン "Acrilan" ポリアクリルニトリル系合成繊維の商品名。性質はオーロンに似ている。アクリルニトリル 85% と酢酸ビニル 15% との共重合物を溶剤に溶かし乾式または湿式で紡糸してから部分的に鹼化を行い染色性を改善する。スフが主で連続糸はつくられない。1950年に発明され 1952年 以後量産。旧称 Chemstrand。混紡用で男子および婦人服、毛布、パイルなどに用いる。

製造会社: Chemstrand Mfg. Co.

アクリルアミド acrylamide

$CH_2CHCONH_2$ 無色。無臭の結晶。融点 $84.5^\circ C$ 。沸点 $125^\circ C(25mm)$ 。比重 $d^{20}_4=1.122$ 。水、アルコールに可溶。ベンゼン、ヘプタンに不溶。室温で安定、溶融すれば激しく重合する。単量体は有毒。アクリルニトリルを 84.5% 硫酸で水和し後中和して得られる。染料その他の合成、重合体または共重合体は合成樹脂、接着剤、紙および織物のサイズ剤、土壌調整用に用いる。

アクリル アルデヒド acrylic aldehyde

→ アクリレン

アクリルさん ——酸 acrylic acid (acro-

leic acid; ethylene carboxylic acid; vinylformic acid; propene acid; propenoic acid) $CH_2CHCOOH$ 無色の液体。刺激臭。比重 1.062。沸点 $140^\circ C$ 。融点 $13^\circ C$ 。水、アルコールに可溶。容易に重合する。銀を触媒としてアクリレンを酸化するか、または β -ヨードプロピオン酸に酸化鉛を加えて蒸溜して得られる。また触媒の存在で、エチレンと炭酸ガスとを直接結合させるか、またはエチレンクロルヒドリンからエチレンシアンヒドリンを経て合成する。

触媒などの存在で速やかに重合して透明なガラス状重合体をつくる。アクリル酸エステル、アクリルニトリルは合成樹脂の原料として重要である。→アクリル酸樹脂
ペイント、ワニス、化学薬品、乳化防止剤、合成ゴム、洗剤、清浄剤、ビタミン合成などに用いる。

アクリルさんエステル ——酸——[単量体]

acrylic esters [monomers] アクリルさんエステル単量。体アクリル酸またはメタアクリル酸のエステル。主要なものを下表に挙げる。これらは粘度の小さい無色透明の液体である。市販の場合には重合抑制剤を加え、自然重合を起さぬよう安定化する。抑制剤を加えないと、爆発的重合を起すから危険である。

性質	アクリル 酸メチル	アクリル 酸エチル
分子式	$H_2CCH-COOCH_3$	$H_2CCH-COOC_2H_5$
沸点, $^\circ C$	80	99.5
凝固点, $^\circ C$	-75以下	-75以下
屈折率 n^{20}_D	1.401	1.404
比重 d^{25}_4	0.952	0.919
引火点, $^\circ C$ 開放式	15.6	29.4

	メタアクリル 酸メチル	メタアクリル 酸エチル	メタアクリル 酸 n-ブチル
分子式	$H_2CCCH_3-COOCH_3$	$H_2CCCH_3-COOC_2H_5$	$H_2CCCH_3-COOC_4H_9$
沸点 $^\circ C$	101	119	163-164
凝固点 $^\circ C$	-48.2	-75以下	-75以下
屈折率 n^{20}_D	1.412	1.412	1.421
比重 d^{25}_4	0.940	0.911	0.895
引火点 $^\circ C$ 開放式	29.4	35	54.4

商品の性状は次の通りである。アクリル酸重合体の製造に用いられる。

性状:

メタアクリル酸メチル